

建築基準法第12条第5項の規定に基づく

鉄骨工事報告書

年 月 日

建築主事様

工事監理者 事務所名 級建築士事務所 () 登録第 号
所在地 TEL
資格・氏名 級建築士 (大臣・知事) 第 号
工事施工者 施工者名 建設業許可 (特定・一般) 第 号
所在地 TEL
氏名
建築主 住所 TEL
氏名

下記の建築工事において鉄骨工事 (溶接・高力ボルト) を次のとおり施工しましたので報告します。

工事名						
工事場所						
確認年月日番号	年 月 日 第 号			構造計算	Ⅰ- (), Ⅱ, Ⅲ, その他	
工事概要	構造種別	S, SRC	階数	/ PH	架構形式	ラーメン・ブレース・
	軒の高さ		最大はり間		建築面積	m ² 延べ面積 m ²
鉄骨加工業者	名称	建設業許可 (特定・一般) 第 号				
	工場所在地	TEL				
	工場認定・登録 (有・無)	大臣認定	年 月 日 No.		(S・H・M・R・J)	
		東京都登録	年 月 日 No.		(T1・T2・T3)	
溶接継目の短期許容応力度	a 工場溶接 (1.0F) b 工事現場溶接 (1.0F)		a 工場溶接 (アーク半自動溶接) b 工事現場溶接 (アーク半自動溶接)			
非破壊検査会社	※1 社内検査 検査率 VT ()% UT ()% 会社名 C I W No. (技術者名)			※2 受け入れ検査 検査率 VT ()% UT ()% 会社名 C I W No. (技術者名)		
使用鋼材 (最大板厚)	柱	S S 400.490 t= mm S M 400(A.B).490(A.B) t= mm S N 400(A.B.C).490(B.C) t= mm S T K R 400.490 t= mm B C R 295 t= mm その他(TMCP.FR) t= mm	梁	S S 400.490 t= mm S M 400(A.B).490(A.B) t= mm S N 400(A.B.C).490(B.C) t= mm その他(TMCP.FR) t= mm		

鋼材使用量		S S材： ton S M材： ton S N材： ton その他： ton							合計 ton		
溶接工事	工場溶接	突合せ	接合箇所	鋼材種別	形状	製造会社	溶接棒等	作業姿勢	溶接工の氏名・資格・No.		
			すみ肉								
		突合せ									
			すみ肉								
	現場溶接	突合せ									
		すみ肉									
	高力ボルト 接合工事	ボルト種類, 径		接合方法	摩擦面の表面処理		ボルトの結付方法, 結付機器				
		J I S 形 (F10T.) トルシア形(S10T.) M12.16.20.22.		1.摩擦 2.引張 3.	1.母材 : 2.スプライスPL : 3.ファイラーPL :		J I S 形				
							トルシア形				
	検査及び確認事項 実施した項目 を○で囲んで 下さい 〔検査を行った 者の所属氏名 _____ _____ _____〕	1 すみ肉溶接のはだすきを検査した。 2 すみ肉溶接の脚長寸法を検査した。 3 突合せ溶接開先角度及び仮付溶接の状況を検査した。 4 同上のルート面, ルート間隔及びスカラップ r = mmを確認した。 5 エンドタブの取付けを確認した。 6 裏当て金の取付け又はウラハツリの施工を確認した。 7 スラグ, スパッタの除去(清掃)を確認した。 8 柱, 梁部材の寸法を確認した。 9 J I S形高力ボルトの締付を()で行った 10 J I S形高力ボルトのトルク値を確認した。 11 トルシア形高力ボルトの使用銘柄 ()を確認した。 12 トルシア形高力ボルトセットの導入軸力試験を現場で行いトルク係数値を確認した。 13 部材の密着を確認して二度締めを行った。 14 高力ボルト接合部の摩擦面処理を行ったことを確認した。 15 高力ボルトの種類, 径, 本数と添板及びファイラーPLの板厚と枚数を確認した。 16 原寸検査, 組立検査, ※3溶接部の検査等を行った。 17 建方検査, 現場溶接の溶接部の検査等を行った。 18 溶接不具合部分の補修を適切に行った。 19 柱脚部の施工が適切に行われていることを確認した。									

記入上の注意

- ◎ 提出及び記入は、原則として工事監理者によること。
- ※1 鉄骨加工業者又は鉄骨加工業者から依頼を受けた代行検査業者が行う検査をいう。
- ※2 工事監理者又は工事施工者等から依頼を受けた代行検査業者が行う検査をいう。
- ※3 溶接部の検査等とは外観検査及び超音波探傷検査等をいう。

その他

- 参考写真（別紙に貼って添付）
 - 1 柱と梁の接合部（開先加工，板付状況等）
 - 2 柱脚部（アンカボルト，ベースプレート，寝巻の鉄筋等）
 - 3 ボルトの接合部（高力ボルトの締付け状況，本数）
 - 4 その他の接合部（ブレース取付部等）
- 溶接技術者の資格証明書の写しを添付してください。